

平成28年度 指定管理者業務実績シート

作成年月日 平成29年6月15日

部	教育委員会生涯学習部	課	文化財課
---	------------	---	------

施設名・所在地	函館市縄文文化交流センター 函館市臼尻町551番地1		
設置条例	函館市縄文文化交流センター条例		
指定管理者名	一般財団法人 道南歴史文化振興財団	指定期間	平成28年4月1日から平成31年3月31日まで
指定管理者の特別な要件	1 考古学・保存科学および博物館環境に習熟した学芸員を3名以上確保し、常時1名以上配置。うち、1名以上は文化庁が主催する指定文化財（美術工芸品）企画・展示セミナー修了者または同等の知識等を有すると教育委員会が認める者 2 管理責任者は「考古学・保存科学および博物館環境に習熟した学芸員」から選任すること	選定区分	公募 非公募
設置目的	縄文文化を通じた交流の場の創出および縄文文化の最新の研究成果を通して歴史的意義・重要性を国内外へ情報発信することにより、観光客や研究者等の集客を促し、交流人口の拡大を図り、もって地域振興に寄与することを目的とする。		
設置年月	平成23年10月	建設費	633,867千円
構造規模等	敷地 総面積：7,140.93㎡ 建物 構造：鉄筋コンクリート造 地上2階 延床面積：1,733.43㎡		
開館時間 休館日等	開館時間 4月1日から10月31日まで 午前9時から午後5時まで 11月1日から3月31日まで 午前9時から午後4時30分まで 休館日 ・月曜日（休日の場合は最も近い平日）・12月29日～1月3日・毎月最終金曜日		
料金体系	<input type="checkbox"/> 利用料金制の採用の有無 無 一般 個人：300円 20人以上の団体：1人につき240円 学生・生徒・児童 個人：150円 20人以上の団体：1人につき120円		
1 指定管理者が行う業務の内容および実施状況 (1) 管理業務 ア 入館者に関すること（受付・案内、体験学習・体験講座企画運営、展示・環境管理） ①ミニチュア土器づくり、縄文ペンダントづくり、縄文編み、組紐アクセサリーづくり等 ②定期講座「春の縄文染め」等 ③定期講座キッズプログラム「縄文釣り体験」等 ④企画展「足形・手形付土製品の世界」 イ 資料の利用に関すること（資料の保管・借受け・利用許可・貸出し、指定文化財の取扱い） ウ 維持管理に関すること（清掃、警備、設備保守点検、塵芥処理、除雪、修繕） エ その他センターの維持管理に関し必要と認められる業務（物品等の調達、光熱水費等の支払い） オ その他教育委員会または指定管理者が必要と認める業務（公金収納、危機管理、広報等） (2) 自主事業 ア 道の駅内売店の運営、ミュージアムグッズ販売			
2 市民サービス向上のためのその他の取り組み実績 ア 広報誌「ステップ・アップ」、ホームページ等による広報活動 イ 南かやべ縄文まつりの開催 ウ 2017ふゆトピア・フェアin函館出展			

3 市民ニーズの把握の実施状況

ア アンケートボックスの設置（通年）

イ 窓口対応（通年）

4 施設の利用状況

・平成28年度の月別入館者数

(単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用件数	1,292	2,718	1,782	2,910	3,007	2,523	2,377	976	365	560	231	947	19,688

・年度別利用件数

	← 当期指定期間 →					(単位：人、円)
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
利用件数	19,688					
使用料収入	4,415,310					

※平成28年度から指定管理者制度導入

5 指定管理者の収支状況

		← 当期指定期間 →					(単位:円)
区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
収入	委託料	46,352,000					
	利用料金						
	事業収入	638,252					
	雑入	0					
	計	46,990,252					
支出	人件費	22,127,998					
	消耗品費	1,027,710					
	印刷製本費	770,430					
	修繕費	145,000					
	水道光熱費	4,627,263					
	通信費	382,722					
	業務委託費	8,882,695					
	リース料	1,356,468					
	租税公課	3,746,964					
	原材料費	392,212					
	固定納付金						
	その他の支出	3,489,691					
	計	46,949,153					
当該施設の利用者一人当たり税金投入コスト		2,130					

6 モニタリングの実施状況および指定管理者に対する改善指示等の実施状況

- ア 管理業務実績報告書、事業報告書・財務諸表を年次提出
- イ 実地調査（随時）

7 指定管理者に対する評価

① 指定管理者の自己評価

区分	評価	評価の内容	課題と今後の対応
業務の履行状況	<input type="checkbox"/> A <input checked="" type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D	<p>・仕様書に基づき、縄文文化交流センターの適切な管理運営に努めた。</p>	<p>・開館時から管理運営業務に携わってきた経験を活かしながら、施設維持・管理運営の体制も年を追うごとに充実し、入館料の徴収や収納管理等適切に履行することができました。</p> <p>今後の課題や対応としては、夏場の館内温度上昇の改善、各種設備等の経年劣化への対応等の解決すべき課題について、今後の方策等市と協議を進めていきたい。</p>
サービスの質の状況	<input type="checkbox"/> A <input checked="" type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D	<p>・お客さまの要望等を常に従業員が共有し、入館案内・解説・講座等の工夫によるサービス向上に努めた。</p>	<p>・毎日閉館後にスタッフミーティングを行い、お客様からの質問や要望等を職員が共有することで、サービスの向上に努めた。特にお客様からは、展示資料に関する質問や展示方法へのご意見等が寄せられているほか、ミュージアムグッズの充実化を求める声なども挙げられており、可能な内容から解決を図っていきたい。</p>
団体の経営状況	<input type="checkbox"/> A <input checked="" type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C		<p>・常に利用者の声に耳を傾けながらニーズの把握に努め、より良い運営を行いたい。また、今年は国宝指定10周年記念にあたることから、関連した講演会や企画展等を開催することで、縄文の魅力を広く市民に情報発信したいと考えている。</p>

② 市の指定管理者に対する実績評価

区分	評価	評価の内容	課題と今後の対応
業務の履行状況	<input type="checkbox"/> A <input checked="" type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D	<p>・協定書を遵守し、事業計画書および業務処理要領に基づき行われている。</p>	<p>・業務の履行状況については、協定書や業務処理要領を遵守し、適切な管理運営が行われている。今後は、減少傾向が見られる入館者数の確保に向け、より一層の創意工夫を行い、引き続き適切な管理運営に努めていただきたい。</p>
サービスの質の状況	<input type="checkbox"/> A <input checked="" type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D	<p>・従業員の接遇も適切に行われており、また、入館者からの要望に対しても積極的に改善を行う姿勢が見られる。</p>	<p>・従業員の接遇等のサービスの質については、今後もより一層の向上に向け、継続的に研修等を実施し、資質向上に取り組みよう努めていただきたい。</p>
団体の経営状況	<input type="checkbox"/> A <input checked="" type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C	<p>・団体の経営状況に問題はないが、事業収支の改善が必要である。</p>	<p>・今後は、事業収支の改善に向け、具体的な収入増対策に取り組みながら、事業運営に努めていただきたい。</p>

◎ 「業務の履行状況」「サービスの質の状況」

- A 協定書を遵守し、事業計画書及び仕様書の水準以上がなされている。
- B 協定書を遵守し、事業計画書及び仕様書の水準どおり行われている。
- C 協定書の遵守しているが、事業計画書及び仕様書の水準をやや満たしておらず、課題がある。
- D 協定書や事業計画書に不履行がある。または、業務水準を満たしていない。

◎ 「団体の経営状況」

- A 事業収支、経営状況に問題はない。
- B 事業収支、経営状況の今後に注意を要する。
- C 事業収支、経営状況に早急な改善を要する。